

演者へのお知らせとお願い

【データ受付】

PC センターの設置はございません。

各演者の先生は、ご発表いただく会場左前方の PC オペレーター席へ発表 30 分前までに発表データまたはご自身のパソコンをお持ちください。

【口演発表の皆様へ】

ご発表開始の 10 分前までに、会場内左側前方の次演者席にご着席ください。

発表形式について

- (1) 口演発表はすべて PC (パソコン) による発表のみで一面映写です。
- (2) USB メモリ、PC 本体による発表が可能です。スライドフィルム、ビデオテープ等での発表はできません。また、CD-ROM や FD、MO は受けつけておりませんのでご注意ください。
- (3) 対応アプリケーション
OS: Windows7
アプリケーション: Microsoft PowerPoint2007/2010/2013
画面のサイズ: XGA (1024×768)
発表時の PC 操作については、ご自身で行ってください。
- (4) 文字フォントは標準で装備されているものをご利用ください。特殊なフォントの場合、表示のずれ、文字化けが生じることがありますのでご注意ください。
推奨フォント 日本語: MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
英 語: Arial、Times New Roman
- (5) 動画は、Windows Media Player で動作するファイル形式をご使用ください。
動画を使用される場合は、PC 本体をお持ちいただくことをお勧めいたします。
- (6) 音声出力はできません。
- (7) Mac でデータを作成される場合には、必ず PC 本体をお持ちください。
- (8) 発表時間は下記の通りです。Power Point の枚数に制限はございませんが、発表時間を厳守してください。

指定演題 …… 事前にお知らせしております発表時間でご発表ください。

一般演題 …… 【一 般】発表 6 分、討論 3 分

【症例報告】発表 4 分、討論 3 分

学会奨励賞プレナリーセッション …… 発表 8 分、討論 4 分

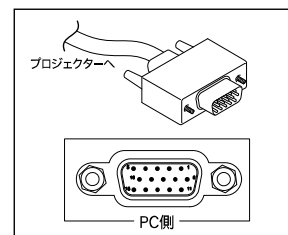
<メディア持ち込みの場合>

- 発表データはメディアに保存した後、事前に別の PC にコピーして、正常に動作することをご確認ください。
- 会場にて受付されたデータは事務局で用意した PC 内にコピーさせていただき、USB はその場で返却いたします。PC 内にコピーした発表データにつきましては、発表終了後、学会事務局で責任をもって削除いたします。
- 発表用のファイル名は「演題番号+氏名」としてください。

例: O1-2-1 日本花子.ppt

<PC 本体持ち込みの場合>

- お持ち込みいただく PC の機種、OS 及びアプリケーションソフトの種類は問いません。動画も使用できます。
- 会場のプロジェクターへは、一般的な外部出力端子 (D-Sub 15pin) での接続となります(右図参照)。Macintosh や一部の Windows マシンでは変換コネクタが必要となりますので、必ずご持参ください。
- AC アダプターを必ずご持参ください。
- 発表中にスクリーンセーバーや省電力設定により電源が切れないよう、あらかじめ設定の確認、変更をお願いいたします。
- 発表終了後は、オペレーター席で PC を返却いたしますので、お立ち寄りください。



[mini D-sub 15 pin] コネクタ形状

【ポスター発表者の皆様へ】

(1)ポスター貼付・撤去について

貼付日程 :11月10日(木) 7:30～9:00

撤去日程 :11月11日(金)16:50～17:00

※定刻になっても撤去されない場合は、事務局で処分させていただきますのでご了承ください。

(2)ポスター発表・討論時間

11月10日(木)17:00～17:50

11月11日(金)16:00～17:00

一般演題ポスター……【一 般】発表7分、討論3分

【症例報告】発表4分、討論3分

リボンをつけた座長の指示に従ってください。

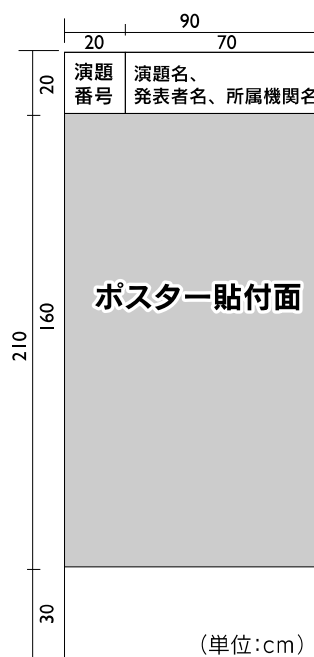
発表者の方は、演者用リボンをつけてポスターの前で待機頂きますようお願いいたします。

演者用リボンは、各ポスターパネルに設置しています。

(3)展示方法

- ・ポスター本文の貼付面は縦160cm×横90cmです。
(右図参照)
- ・パネル上部(縦20cm×横70cm)に演題名、発表者名、所属機関名を貼付してください。
- ・左上の演題番号(縦20cm×横20cm)は事務局でご用意いたします。
- ・ポスターパネルに画鋸を準備しております。
- ・掲示物の学会場・事務局への事前送付はご遠慮ください。

【ポスター作成見本】



日本脊髄障害医学会誌掲載用原稿の提出

発表内容は、日本脊髄障害医学会誌 第 30 巻第 1 号に掲載される予定です。投稿方法は、オンライン投稿とします。学会ホームページ(<http://www.jascol.jp/>)に案内を掲載いたしますのでご覧ください。

また、著者は共著者を含めて、日本脊髄障害医学会会員であることを要します。未入会のかたは、下記事務局にご連絡の上、至急入会手続きをお取りください。

〈日本脊髄障害医学会事務局〉

〒251-0035 藤沢市片瀬海岸 3-13-20 エム・コム内

TEL:0466-27-9724/FAX:0466-27-9723

E-mail: info@jascol.jp

<http://www.jascol.jp/>

第 51 回日本脊髄障害医学会についてのお問い合わせ先

〈第 51 回日本脊髄障害医学会事務局〉

東邦大学医療センター佐倉病院 内科学神経内科

〒285-8741 千葉県佐倉市下志津 564-1

TEL:043-462-8811 FAX:043-487-4246

〈第 51 回日本脊髄障害医学会運営事務局〉

株式会社 オフィス・テイクワン

〒451-0075 名古屋市西区康生通 2-26

TEL:052-508-8510 FAX:052-508-8540

E-mail: jascol51@cs-oto.com

各学会の教育講演等の単位申請に関する注意事項

【日本リハビリテーション医学会】

対象： 特別講演 1（11月10日（木）16：00～17：00 講師：Clare Juliet Fowler）
特別講演 3（11月11日（金）11：00～12：00 講師：Jean Jacques Wyndaele）

「専門医・認定臨床医生涯教育研修会参加証」をお配りします。日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育 10 単位になりますので、参加証を保管して、年度末にリハビリテーション医学会事務局へ送付してください。なお、学術集会自体の参加の証明にはなりませんので、参加単位（10 単位）を併せて申請する場合には、ネームカード及び領収書のコピーを一緒に送付してください。

【日本整形外科学会】

日本整形外科学会教育研修会実施規約に従い、教育研修講演として認定されています。1 講演（60 分）1 単位（1,000 円）で、1 日最大 4 単位、学会期間中最大 6 単位まで取得可能です。対象のセッション、取得可能な単位種別については P.14～15 をご確認ください。
研修医の先生は、必ず「研修手帳」をお持ちください。

【日本神経学会】

日本神経学会専門医認定資格の更新対象となり、学術集会参加が 2 点となります。

【日本泌尿器科学会】

日本泌尿器科専門医教育研修単位となり、学術集会参加が 3 点となります。また一般演題において、筆頭演者の方は 5 点、共同演者の方は 1 点を申請できます。学会に対して初回申請時もしくは更新時に参加証の添付および発表に関しては Web にて申請をしてください。

【日本排尿機能学会】

日本排尿機能学会認定医教育研修単位となり、学術集会参加が 5 点となります。

教育研修講演一覧

特別講演						日本整形外科学会		日本リハビリテーション医学会
No	演題名	講師	抄録	会場	日時	認定単位種別	専門医必須分野	専門医・認定臨床医生涯教育
2	Historical Review of Uro-Neurology	Clare J. Fowler	P68	1	11月10日(木) 16:00~17:00	N, SS	1	10 単位
3	Spinal Cord Diseases and ISCoS	Jean Jacques Wyndaele	P70	1	11月11日(金) 11:00~12:00	N, SS	7	10 単位

教育講演						日本整形外科学会	
演題名	講師	抄録	会場	日時	認定単位種別	専門医必須分野	
痙縮治療の実際 -バクロフェン持続髄注療法とボツリヌス治療-	中山 晴雄	P72	1	11月11日(金) 14:00~15:00	N, Re	7	

リレーレクチャー						日本整形外科学会	
No	演題名	講師	抄録	会場	日時	認定単位種別	専門医必須分野
2	A型ボツリヌス毒素注入と神経刺激療法: 脊髄障害による神経因性膀胱での知見	関戸 哲利	P85	1	11月10日(木) 14:00~15:00	N, Re	7
	便失禁に対する仙骨神経刺激療法	山名 哲郎	P86				
3	多発性硬化症治療の最近の進歩-カリウムチャンネル阻害剤、4アミノピリジンを含めて	森 雅裕	P87	1	11月10日(木) 15:00~16:00	N, SS	8
6	視神経脊髄炎治療の最近の進歩	大橋 高志	P96	1	11月11日(金) 9:00~10:00	N, SS	8
7	脊髄と痛みの治療最先端 ~脊髄刺激療法	樋口 佳則	P97	1	11月11日(金) 13:00~14:00	N, Re	7

モーニングレクチャー						日本整形外科学会	
No	演題名	講師	抄録	会場	日時	認定単位種別	専門医必須分野
1	脊椎脊髄疾患の高位別神経症候学	福武 敏夫	P115	2	11月10日(木) 8:00~9:00	N, SS	7
3	頸椎高位の脊椎・脊髄疾患: 臨床と基本的な画像診断	武者 芳朗	P117	1	11月11日(金) 8:00~9:00	N, SS	7
	腰椎領域の画像診断 up to date	稲岡 努	P118				
4	若手医師のための脊椎脊髄画像 up to date: 脊髄腫瘍を中心に	伊藤 圭介	P119	2	11月11日(金) 8:00~9:00	N, SS	7
	脊髄腫瘍の画像診断 摘出術を念頭に	原田 直幸	P120				
5	スポーツにケガはつきものか? -「見える化」活動の成果報告	内田 良	P121	3	11月11日(金) 8:00~9:00	N, S	2

ランチョンセミナー

						日本整形外科学会	
No	演題名	講師	抄録	会場	日時	認定単位種別	専門医必須分野
1	関節リウマチ脊椎病変の最近の動向 ～手術手技の進歩と薬物治療体系の 変化に伴う病態の変遷～	高橋 宏	P125	1	11月10日(木) 12:00～13:00	N, SS	6
2	後縦靭帯骨化症に対する手術戦略	國府田正雄	P126	2	11月10日(木) 12:00～13:00	N, SS	7
3	難治性仙腸関節障害に対する ^{99m} Tc-MDP SPECT/CT の診断的意義	古賀 公明	P127	3	11月10日(木) 12:00～13:00	N, SS	11
4	脊椎損傷後の脊柱再建手術	鏡 邦芳	P128	1	11月11日(金) 12:00～13:00	N, SS	7
5	運動器慢性疼痛の理解と整理 ー疼痛伝達における末梢神経と 脊髄後角の関与ー	折田 純久	P129	2	11月11日(金) 12:00～13:00	N, S	7

<専門医必須分野>

[1] 整形外科基礎科学
[2] 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
[3] 小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
[4] 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
[5] 骨・軟部腫瘍
[6] リウマチ性疾患, 感染症
[7] 脊椎・脊髄疾患
[8] 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
[9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患
[10] 手関節・手疾患(外傷を含む)
[11] 骨盤・股関節疾患
[12] 膝・足関節・足疾患
[13] リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)
[14-1] 医療安全
[14-2] 感染対策
[14-3] 医療倫理
[14-4] 指導医講習会、保険医療講習会、臨床研究/臨床試験講習会、医療事故検討会 医療法制講習会、医療経済(医療保健など)に関する講習会など
[14-5] 医学全般にわたる講演会などで、14-1～14-4に当てはまらないもの

<認定単位種別>

N:日整会
S:スポーツ医単位
R:リウマチ医単位
SS:脊椎脊髄病医単位
Re:運動器リハビリテーション医単位

共催セミナー一覧

11月10日(木) ランチョンセミナー1～3

テーマ	会場・時間	共催
ランチョンセミナー1 関節リウマチ脊椎病変の最近の動向 ～手術手技の 進歩と薬物治療体系の変化に伴う病態の変遷～ 座長：青木 保親（東千葉メディカルセンター） 演者：高橋 宏（東邦大学医療センター佐倉病院整形外科）	第1会場 （国際会議室） 12：00～13：00	エーザイ株式会社
ランチョンセミナー2 後縦靭帯骨化症に対する手術戦略 座長：山崎 正志（筑波大学 医学医療系 整形外科） 演者：國府田 正雄（千葉大学大学院医学研究院 整形外科）	第2会場 （中会議室 302） 12：00～13：00	ジョンソン・エンド・ ジョンソン株式会社
ランチョンセミナー3 難治性仙腸関節障害に対する $^{99m}\text{Tc-MDP}$ SPECT/CT の診 断的意義 座長：寺田 一志（東邦大学医療センター佐倉病院放射線科） 演者：古賀 公明（医療法人菊野会 菊野病院）	第3会場 （中会議室 303） 12：00～13：00	富士フイルム RI ファーマ株式会社

11月10日(木) 特別講演 2

テーマ	会場・時間	共催
特別講演 2 Historical Review of Uro-Neurology 座長：榊原 隆次（東邦大学医療センター佐倉病院 内科学神経内科） 演者：Clare J. Fowler（ロンドン大学 Queen Square）	第1会場 （国際会議室） 16：00～17：00	ファイザー株式会社

11月11日(金) ランチョンセミナー4～5

テーマ	会場・時間	共催
ランチョンセミナー4 脊椎損傷後の脊柱再建手術 座長：高橋 寛（東邦大学医療センター大森病院整形外科） 演者：鑑 邦芳（札幌整形外科・脊椎脊髄センター）	第1会場 （国際会議室） 12：00～13：00	メドトロニック ソファモア ダネック 株式会社
ランチョンセミナー5 運動器慢性疼痛の理解と整理 —疼痛伝達における末梢神経と脊髄後角の関与— 座長：中川 晃一（東邦大学医療センター佐倉病院整形外科） 演者：折田 純久（千葉大学大学院整形外科学）	第2会場 （中会議室 302） 12：00～13：00	日本イーライリリー 株式会社／ 塩野義製薬株式会社

11月11日(金) 特別講演3

テーマ	会場・時間	共催
特別講演3 Spinal Cord Diseases and ISCoS 座長：榊原 隆次（東邦大学医療センター佐倉病院 内科学神経内科） 演者：Jean Jacques Wyndaele（The International Spinal Cord Society（ISCoS）（国際脊髄学会） President・「Spinal Cord」Editor）	第1会場 （国際会議室） 11：00～12：00	エダップテクノメド 株式会社

11月11日(金) 教育講演

テーマ	会場・時間	共催
教育講演 痙縮治療の実際 —バクロフェン持続髄注療法とボツリヌス治療— 座長：平 孝臣（東京女子医科大学 脳神経外科） 演者：中山 晴雄（東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科）	第1会場 （国際会議室） 14：00～15：00	第一三共株式会社